

秋田県公務労協が公共サービスキャンペーンアピールステージを開催(11/17) ー公共サービスの充実と「県公共サービス基本条例」の制定をー

秋田県公務労協は、11月17日、秋田市のエリアなかいち「にぎわい交流広場」で開催された「食とみどりと水のフェスティバル」(大量生産・消費・廃棄を見直し、きれいな空気・水・森林、安心・安全な食料の確保など目標)の中で、公共サービス充実と「県公共サービス基本条例」の制定を求め、公共サービスキャンペーンアピールステージを開催した。



フェスティバル開催前の会場の様子

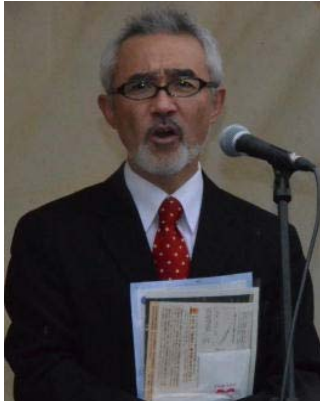
県公務労協は2010年10月に、「公共サービス基本法」に基づいた「県公共サービス基本条例」の制定を求めて「県民の会」を立ち上げ、精力的に取り組んできた。具体的には、テレビCM(全国共通版)を作成し節目で放送しながら、街頭署名やシンポジウムの実施、連合秋田議員懇談会との調整などである。

2012年秋の取り組みとしては、年末まで秋田中央交通のバス10台に広告を掲載、11月下旬にTVCMを放送しており、今回のステージはその一環として実施された。



秋田中央交通のバスに広告を掲載

フェスティバル会場の特設ステージでは、吉田代表（林野労組）が「公共サービス基本条例を実現し、住民生活を守ろう」とあいさつ、来賓としてかけつけた公務労協の藤川副事務局長も「この間、先進的に取り組んできた秋田でぜひ条例制定を」と激励した。続いて、TVCMや広告のモデルとなった佐々木李子さん（14歳・2009年ミュージカル・アニー主演）のミニライブとトークが行われた。



激励のあいさつをする
藤川公務労協副事務局長



ミニライブを行う佐々木李子さん(左)

なお、秋田県内では、大館市で委託業務低入札価格調査制度及び最低制限価格制度が実施されているが、2013年2月には秋田市で「公契約条例」制定が予定されている。県公務労協ではこうした動きをさらに促進させるため、県の基本条例制定に粘り強く取り組んでいくこととしている。

会場では、オリーブの苗木や福島産リンゴ・ももジュースが無料配布されるなど、各団体が市民へアピールしていた。

